

季節のことば

今年も暖冬傾向だといわれているが、やはり西高東低の冬型天気こそ年始の肅々とした気分に対応しい。きりりと身も引き締まり気分も高揚するような気がする。

正月がもし夏だとしたら、照り付ける熱い日差しの下で汗を

流しながら新年を祝福することになる。これは勘弁して欲しいですね。やはり年の始めは冬に限る。外の寒気に身をさらすのもよし、炬燵の中にくるまってぬくぬく過ごすのもよし。

ただ、景気の冷え込みだけは緩んで欲しいもので...

三笠ニュース

PR句報/年4回発行
発行所 三笠産業株式会社
郵便番号101 東京都千代田区猿樂町1-4-3
電話03(3292)1411大代表 ファックス03(3233)0630

新春随想 京谷達也

新しい年のはじめ、寸感を記してご挨拶にかえたいと思います。いま、世界的に蔓延している経済不況。日本も例外でなく、企業の経営はどれもその対応にとまどっているのが実情です。政府は景気対策の見なおしに総力をあげながら、時として不況感をさらに高める政府・政治家の言動を押さえきれないでいます。

幸い三笠産業は皆様のおかげで健全を保っていますが、楽観できないのは今後の世界的経済不透明です。こんなとき私は、経営者として心の支えを求めて古今の名著をひもとかずにはいられません。

老驥の櫓に伏すも 志は千里に在り
烈士は暮年にして 壯心已まず

三国志で活躍する曹操の詩でした。物語



では後漢の天下を奪う悪玉に描かれていますが実際の曹操は抜群の器量をそなえた英雄でもあり、すぐれた詩人でもあったのです。屈原以後まともった詩を残した第一人者とも云われます。駿馬は老いて馬屋に伏す身になっても千里を走る意気込みを持ち、ますらおは晩年になっても若々しい心を失わない——とでも訳しましょうか。漢詩の多くは詠嘆をふくんだ抒情詩の感動で人を酔わせますが、曹操のこの詩はめずらしく私に勇気と励ましをかき立ててくれました。

一年の計は元旦にありと昔から云われますが一日一日を、一年一年を大切にすることを誓う、それが企業の発展にもつながるのです。私は“壯心已まず”を心に誓いました。皆様のご健勝を祈り、併せてご協力をお願いいたします。



颯爽登場

新型 コンクリートカッター MCD-210シリーズが完成

1985年の登場以来8年間にわたりたくさんのお客様にご愛用頂いて参りました三笠の中型コンクリートカッターシリーズ、MCD-21AST、23ADX並びに25ADX型がこの度フルモデルチェンジし、MCD-214、216、218の3機種、MCD-210シリーズとして生まれ変わりました。

従来のシリーズとの最大の違いは、

これまでのカッターの昇降方式がレバーによるワンタッチ方式を採用していたのに対し、新シリーズではユーザーの皆様の強い要望にお応えし、クランクハンドル回転のスクリュウ方式を採用いたしました。クランクハンドル1回転でブレードは7mm上下し、この1回転の途中に3か所にストッパーがかかるように設計されておりますのでブ

レードの最小深度調整は2.3mmとなります。

次に近年流行の丸みを帯びたデザインを全体に生かし、特にベルトカバーはP、P素材のプラスチックを採用致しました。丸みを帯びたブレードカバーに装着される散水装置はチューブコネクターにより外部で二分され、ブレードカバー内のストレート散水管に接続されます。このためゴミの除去、清掃が簡単に出来るようになりました。水タンクの容量は45ℓとし機体を押すときにオペレーターの体が違和感なくフィットするように彎曲構造となっております。またタンク底部には残水抜き用のドレンキャップを設け凍結防止に配慮しました。少しでも機体をきれ

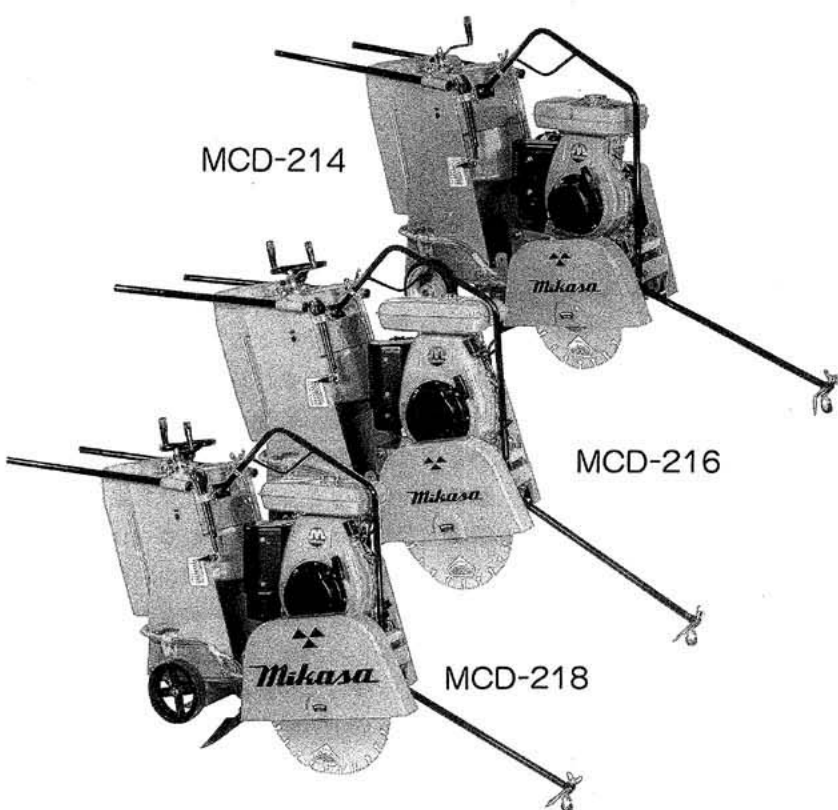
いに気持ち良く使用して頂くため、本体フレーム（ベース）は従来の解放型を止めて上部に蓋をした形にした為、切削飛沫が後方へ飛びにくくなったばかりかエンジンを汚すことも殆どなくなり作業後の清掃の手間が省けるようになりました。

走行作業時の操作性向上のため走行ハンドルは丸型とし、走行クラッチの操作をフットペダル式とし、一段と使い易くなりました。

一点吊りフックは吊った時にやや後方が下がるようにバランスを考え、下におろすときには後輪が先に着地しブレードをいためないよう細かな所にも注意を払っております。

MCD-216型とMCD-218型には始動の楽なセルスターター付きのモデルもあります。(型式の後にSがつきます。)

この様に新シリーズはお客様のニーズに応え、ますます使い易いカッターとなっております。倍旧のご愛顧下さいますよう心よりお願い申し上げます。



仕様

1. カッター仕様			
型 式	MCD-214	MCD-216(S)	MCD-218(S)
全長(切削ガイド、ハンドル伸長時)mm	1958	⇐	⇐
全長(切削ガイド、ハンドル格納時)mm	1077	1087	1124
全幅mm	540	⇐	⇐
全高mm	965	981	⇐
総重量kg	113	136(149)	139(152)
走行方式	手押し式	ハンドル回転式	⇐
切削深度調節(クランクハンドル)	手動スクリュウ式	⇐	⇐
冷却方式	重量注水方式	⇐	⇐
水タンク容量ℓ	45	⇐	⇐
使用ブレード及び最大切削深さ(ブレード軸径φ27)			
使用ブレード寸法(外径)		最大切削深さ	
(10")254mm		70mm	
(12")305mm		95mm	
(14")356mm		120mm	
(16")407mm		145mm	
(18")457mm		170mm	
取付けブレード制限		14"以下	16"以下 18"以下
2. エンジン仕様			
型 式	EY28D	EY35D(EY35DS)	EY40D(EY40DS)
エンジン型式	空冷4サイクル	⇐	⇐
最大出力	7.8PS/4000rpm	8.5PS/3600rpm	10PS/3600rpm
燃料タンク容量ℓ	5.5	6	⇐

中国 深圳

経済特区、騒音と熱気 百鬼夜行の街だった…

海外営業部輸出一課 藤岡貴志

ホテルを出ると、いきなり花売り娘の団に囲まれた。小学校の低学年を筆頭に幼稚園くらいの小さな子も混じっている。みんな着飾った服を着て花を差し伸べてくる。笑顔向けようものなら彼女たちの餌食になるので、ここは一目散に逃げるしかない。それでもまるで鬼ごっこでもしているように執拗に追いかけてくる。これが困る。気持ちの上では明らかに彼女たちのほうが優位に立っているのだ。

香港と国境を接する深圳の朝。

日本ではすでに秋色が濃くなっているといのに、ここではまだむせ返るような熱気が立ちこめている。もっと



展示会場のあるコンチネンタルホテル

も、この熱気は気温が高いばかりではないようだ。トラックの巻き上げる砂塵で、道路は霞みがかかったようになっており、その中をけたたましくクラクションを鳴らしながら車が爆走する。バイクが猛進する。自転車が疾走する。その間を縫うように人間達が横断する。みんなすました顔をしている。狼狽でしかも希有な共存関係。よく事故が起きないものだと思う。 (実際は事故など日常茶飯事らしいが。) 活況を呈しているという形容よりも、お祭りの中に入るとでも言ったほうがよい。そんな熱気を感じるのだ。

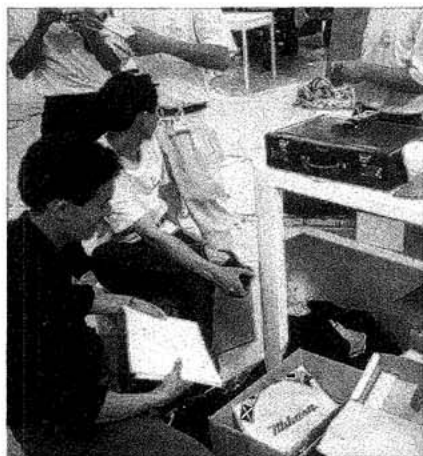
花売り娘の猛攻を逃れて、国際展示中心(国際展示会場)に向かう。ブースの設営と機械の展示のためだ。この展示会(正式には第二回深圳国際機械・機器展示会)には、日本からはJETRO(日本貿易振興会)の主催で三笠産業も単独に出品参加した。開催地は社会主義市場経済のモデル区として名高く、五大経済特区のひとつである深圳市である。

会場に着くと、日本から船積みされてきた木枠梱包が、ブース前に置いてあった。しかし、ボルト梱包は無視され側板が無惨にも開けられている。再梱包が心配だ。また、開梱したはよいが中に入っている機械が少々重たいせいか、そのまま放って置かれたまま。中国人の作業員達がその作業をしているのだが、その人数が絶対的に少ない、道具がない、やる気がない、のいないずくして作業は遅々として進まないのである。また、やる気がない、というよりもこちらから執拗に指示を出し続けないと仕事をしないわけで、自ら進んでやろうとはしない。

何とか彼らを誘導しながら木枠から機械を出していると、なにやら後ろで怪しい気配がする。振り向くと作業員の一人が参観者用のギフトであるボールペンの箱を勝手に開けて、そのボールペンを自分の胸にはさんでいるのだ。それも一人二人の数ではない。顔が喜びに輝いている。啞然とした。

ものを失敬することを罪悪だと思ふ感覚に薄いというのはまさか本当であろうか? そういえばここ数日の間、JETRO事務局からいろいろなものが紛失していると聞いた。冗談ではありません。

一方、^{件々}作業員はボールペンをためつすがめつなでまわしながら、にやにや笑っている。その不敵な笑い! 「略奪」という言葉が目の前にちらつてきた。しかたがない、ここは毅然とし



作業中の中国人ワーカーたち

た態度にでるしかないぞ。ところが、相手が中国語しか話さないためこちらの意をうまく相手に伝えられない。

作業員 「これ、俺にくれるよね」
私 「だ、だめです。それおきゃくさんのもの。あなたのものがない」

作業員 「水臭いね。一つくらいくれたっていいだろ」
私 「わたしたいへんこまる。ほんとにこまるです」
作業員 「このペンなかなかいいねえ」
私 「おい、そこのお前! ペンをポケットに入れるんじゃない。返せ、こら」
(と、思わず日本語で叫ぶ)
作業員 「だけど、一人で機械を運んだりするのは大変だよ」
私 「……」
作業員 「だいたい俺達アルバイトだからね。人数も少ないし楽な仕事から始めるが人情だね」
私 「あなたしごとする、これあなたのもの。しごとしない、これあなたもらえない」
作業員 「おい、きいたかみんな。仕事だせ。仕事!」

というわけで、あつというまに10人位の作業員達が集まってきた。おかげでカタログの袋詰め作業などあつという間に終わった。他のブースの様子を見るとなかなか手こずっているようだ。作業は早く済んだが、いやはや少々失費を強いられたわけである。やあ、同士! と、気軽に呼びかけてくる彼らに泣き笑いの顔でうなずく。

次の日から展示会は始まった。その朝も花売り娘たちがいた。今日は満面に笑みを浮かべている。売らんがための擬態だが、こちらはもちろん買う気はない。早足で歩き始めると向こうもほとんど駆け足に近い速さで追いかけてくる。振り向きざまに手で拳銃を打つまねをした。ぜんぜん受けなかった。

展示会期間中にもいろいろのことがあった。

初日には使いすてカメラを人混みの中で掏られた。二日目は、朝、トマトジュースを飲んだら10分後にトイレにかけ込むはめになり、おかげで1日中腹部がかしましい音楽を鳴らし続けた。三日目は、タクシーに乗ってとんでもないところに連れていかれそうになり恐慌をきたしそうになったが、運転手が小用を足すために適当な場所を捜し

ているとわかって気が抜けた。結局二人で用を足しに行った。撤収日には、再梱包用の木枠が行方不明になり、地下の倉庫に探しに行くと倉庫番の爺さんに泥棒と呼ばれ思わず逃げてしまい、潔白を証明するのに、逃げたという不利な状況が最後までネックとなった。

もっとも、こんな出来事ばかりが続いたわけではない。熱心な参観者の三笠製品に対する興味と羨望を肌で感じ、中国の底知れないパワーを感じさせる人々にもたくさん出会ったことは有意義であったと思う。期間中の日曜日には、例の作業員が遊びに来てくれた。胸ポケットには三笠のロゴ入りボールペン。歓待した。記念品のペンはもちろん渡さなかったけれど。



通訳の張嬢と筆者

深圳を去る日の朝、チェックアウトをすませてホテルを出ると外は相変わらずの快晴で、空を見上げると煙のような雲が虚空に上っている。そこへ午後の風のように花売り娘たちが現れた。もう顔見知りのような間柄だが、スーツケースが傍らにあるため、状況を察知したようだ。さて、これが最後のチャンスだよ、お嬢さん!

香港との国境まではバスで小一時間で着く。高層ビルと狭い路地の混在する深圳の町並みが車窓から流れていく。ほとんど放心状態でそれを眺めた。そして、いくらか酩酊した気分がこの数日間の出来事を反芻していた。右手で握った小さい花からほのかな匂いがたちのぼってくる。

彼女たちの匂いだった…

深圳国際機械及び機器展示会

第二回深圳国際機械・機器展示会は、10月21日から25日までの5日間、中国広東省深圳市で開催されました。日本からはJETRO(日本貿易振興会)の主催で弊社も単独で出品しました。出品したモデルは、マイコンバイブレーター(VH-series)、高周波バイブレーター(FX-series)、タンピングランマー(MTR-80HR)、油圧前後進コンパクト(MVH-302DS)、パワートロウエル(MPT-36A)、軽便バイブレーター(MX-32)などです。

三笠のブースには、記帳者だけで連日100名以上を越える盛況ぶりで、合

弁、合作などの引合いを含む多くの反響がありました。中国製バイブレーターの進出も昨今まなかではありませんが、その技術者が三笠のブースに立ち寄ると、日本の先進技術を駆使したマイコンバイブレーターに瞠目していました。

弊社としても、社会主義市場経済を推し進めている中国に対し、さらなるアプローチを進めていくと同時に、一衣帯水である隣国の発展と躍進に何らかの形で寄与していきたいと考えております。

三笠産業(株)高崎営業所開設

交通便利の地です。よろしく御支援お願いします…

弊社では一昨年来地元に着目した木目細かな営業活動を目指し、積極的な営業所展開をしておりますが、この度6番目の営業所として、北関東の要衝群馬県高崎市に高崎営業所を開設し、11月15日、大安吉日を選んで開設披露パーティーを開催しました。当日は高崎営業所の門出を祝うかのような好天に恵まれ、県内の大勢のお取引先の皆様にお集まり頂き、三笠からは京谷社長初め幹部社員が出席しなごやかに歓談するとともに新営業所に対するご支援をお願い申し上げました。

営業所は高崎駅東口より約2キロ、ファミリーレストランやカーディーラー、スポーツ用品店等が並ぶ高崎環状線から道路1本内側に入った所にあり、関越自動車道「高崎IC」へも約2.5キロと交通の便に恵まれたところにあります。また、群馬、栃木、茨城を結ぶ北関東横断道もいよいよ着工が決まり、これが開通すれば現在は比較的連絡の悪い東毛地区へのアクセスも抜群に良くなります。

スタッフは以前より群馬県を担当しておりました浅田佳秀が所長となり札幌営業所より大澤洋二が赴任し、高崎営業所開設にあたり入社した小池美香子を加え3名でスタートしました。少人数の営業所故何かと行き届かぬ点もあるかと思いますが、皆様のご協力を頂き、三笠ナンバーワンの営業所にしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



します。

三笠産業株式会社 高崎営業所
住所

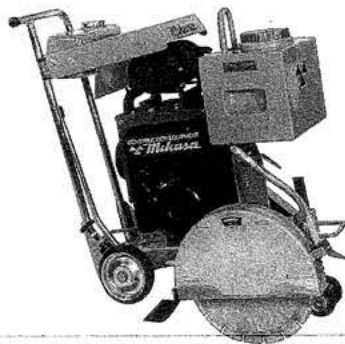
〒370

群馬県高崎市江木町1716-1

電話 0273-22-0032

FAX 0273-22-0181

MCD-04SGK

コンクリートカッター
低騒音建設機械に指定

三笠の防音型コンクリートカッター
MCD-04SGKは昨年9月29日付で建設省の低騒音建設機械に指定されました。



ついにやりました！5年連続の入選。私たちの大先輩・森昭男相談役のカメラ趣味は知人ぞ知る、経歴の古さも技術の良さもハンパじゃないのに、なぜか特選金メダル入賞は今回が初でした。題は『農村夕景』。ある休日、栃木県黒羽あたりの古刹で一日の撮影を終えた帰り道、夕霧たなびく田園…、気分はまさにミレ一の晩鐘…でパチリ。肩に力を入れず撮ったことが成功の理由らしい。毎年催されるグループの写真コンテストで毎年？万円の賞金をせしめて



おられる。もちろん今回の入選により新記録樹立はいうまでもない。「ささやかな金額でも大きな励みになりますなあ」と笑顔がこぼれ出た。根っからの技術屋さんなのに文芸や歴史が大好き。ファインダーを覗きながら「奥の細道」にも挑戦されている。カメラは骨董品級もふくめて約10台が身辺に。この趣味と水泳による体力維持が長い単身赴任生活と桜電機をささえる森さんの原動力なのかも知れません。

三笠クイズ VOL.12

【問題】 タテとヨコのカギを解いて1～5の文字をつなげると、正月にちなんだ言葉が浮かんできます。さて何でしょう。

ヒント

ヨコのカギ

ア. 叶うといいね。
イ. 案を関係者にまわして承認を得ること。〇〇〇書。
ウ. 予算の削減に大〇〇を振るう。
エ. この値段は消費税〇〇です。
オ. コンピュータと〇〇〇〇〇〇で結ぶ。
カ. 犬の一種。〇〇くしゃは不美人をいう言葉。

タテのカギ

A. 考え直していいものにしようとする。案を〇〇〇〇〇。
B. 1月1日。本来は元日の朝のこと。
C. 不服や反対の意志。〇〇を申し立てる。
D. あの人に話しても〇〇があかない。
E. 駅にあるのは〇〇〇ロッカー。
F. 森のクマは今〇〇〇〇〇中です。

ア	B	3	1	F
A				5
イ				
ウ			4	エ
オ		2	D	
			カ	

《応募の方法》官製ハガキにクイズの答えと住所、氏名、年齢、職業(会社名)をお書きのうえご応募ください。正解者には、抽選のうえ10名様に記念品を差し上げます。

●あて先 〒101 東京都千代田区猿樂町1-4-3

三笠産業株式会社

「三笠ニュース」編集部

●締切り 1994年2月1日(火)消印有効

VOL.11の答えは「カンナヅキ」でした次の10名様に図書券をお送りしました。

富谷亮一様(湯沢市) 岩瀬喜美代様(足利市) 瀬戸由紀様(砂川市) 北島秀一様(長野市)
斉藤洋男様(静岡市) 高野洋子様(新潟市) 本庄加苗様(伊勢原市) 山村信雄様(足立区)
北村靖夫様(前橋市) 船山加代子様(幸手市)



文壇の大御所と謂れた
菊池寛(香川県出身)
(1888~1948)

えー明けてお目出とうございます。今年は平成最初のイヌとし。それでは昭和最初のイヌとしは、と暦を見たら9年でございます。この年生まれは還暦をお迎えのようで……。

昭和9年の早春2月、小説家直木三十五が亡くなり、文壇の大御所菊池寛は「芥川・直木賞」の制定を思いつきました。思いつけば即実行の菊池寛ですが、この構想には多少時間をかけ、正式発表が翌年正月号の文芸春秋誌上で大々的に行われました。

さて第1回受賞者に石川達三、川口松太郎が決定。受賞式には各新聞社を手厚く招待したにもかかわらず記事になっておりません。そこでカーッととなった菊池寛は次号文春のコラムで怒り

を爆発させております。人情味あって気も優しいが慌てものでカンシャク持ちでケンカっ早い。

これより少し前の昭和5年、菊池寛は短気ゆえの事件をおこしています。その年5月から『婦人公論』に広津和郎の長編小説「女給」の連載がはじまり、その宣伝文にイワク「文壇の大御所がモデルとして登場！」と出されました。文壇の大御所と云えば当時は菊池寛ということになっていまして、事実その小説の主人公は菊池であり、なじみの女給小夜子とのいきさつを書いたものでした。

これを見て菊池寛は立腹。おれも作家だから小説のモデルにされるには文句などないが、この広告文は実に大げさで不愉快千万。ということで中央公論社社長に「僕の見た彼女」という題で抗議文を送ります。

婦人公論は早速その抗議文を次号で掲載しますがその題名は「僕と小夜子との関係」と勝手に変えましたからさあいけません。菊池寛は単身で中央公論社へ乗りこみ「編集長を出せ！」です。

執筆者にことわりもなく題名を変えろとは不届き。しかも怪しい想像をかき立てる下品な題名にした。そんな編集長は低能児だぞ……。低能児呼ばわ



りされた編集長はカッとなりまして、まあこの辺は雑誌編集者と作家との間に潜在する相互の屈辱的感情というむずかしい関係もあるのですが、「私が低能ならアンタは無能だ」くらいのことを云ったのでしょう。

「何っ！」と叫ぶやいなや菊池寛の両手が伸びて編集長の頭をボカボカとなぐります。活劇はさきぎに駆けつけた編集部員たちに押えられて一応おさまりますが、あが大変。新聞はデカデカと書きたて、中央公論社では菊池を暴行罪で告訴すると主張、菊池は名誉キソンで訴えとりキみます。

いちばん困ったのは広津和郎です。たぶん菊池は怒っておるだろうと気を病んでいるとき、神宮外死でぱったり顔を合わせた。逃げるわけにもゆかず、すると菊池がニヤリと笑ったから「君

は僕を怒っているんじゃないのか？」と云うと「なかに僕が怒っているのは中央公論だよ」とまたニッコリ。

ほっとした広津和郎は事件の調停役になり出します。しかし中央公論社鳴中社長は頑固に「この際、執筆者という人種の横暴と闘ってもいい」覚悟。広津和郎は最後の切り札「ならば私は連載小説を中止しましょう」で、ようやく調停に成功、菊池と鳴中社長が双方で詫状を交換し一件落着いたそうでございます。

菊池寛が社会民衆党公認で総選挙に立候補したのは昭和3年2月でした。この選挙にはもうひとり文壇からプロレタリア作家藤森成吉(労働農民党)が出ております。ともに枕をならべ討ち死にでした。菊池寛は落選の弁で「僕は代議士になろうという野心などちっともなかった…」と淡々と述べながらも選挙中の彼に対するマスコミ各紙の論評に凄じい怒りをブチまけて批判しました。闘志闘魂はスポーツなど勝負のほかはこのように胸の中に秘められて時々爆発させればいいのでしょうか。誰かさんのように怒りのままで沈黙してしまっは敗北じゃありませんか。丁度時間となりました。巖谷大四先生の労作物語『文壇史』から借用しましてのつたない一席これにて終わります。

幸和グループ 創立20周年記念 祝賀会開催さる



秋田県の弊社の代理店であり、また東北三笠レンタル会の会長をお引き受けいただいている幸和機械㈱様、幸和リース㈱様（社長 福田幸夫氏、本社能代市浅内字横道19-1）におかれましては幸和鋼管㈱様を含めたグループの創立20周年記念祝賀会を平成5年10月21日（木）能代キャッスルホテルに於いて盛大に開催された。

当日は地元建設業者をはじめ政界、メーカー、商社の皆様もお祝いに駆け付け、弊社からも京谷副社長が出席しお祝いを申し上げた。祝賀会の冒頭福田社長が挨拶に立たれ、「この20年間当社の社是として、『限りない躍進』をスローガンに全社員一体となり、社訓である『努力』を常に忘れることなく社業の発展のため企業努力を続け、最新鋭の機械の導入と諸設備の改善をはかり年々増加する公共工事や土木工事の幅広いニーズにお応えして参りました。」と、時には苦勞話を交え出席されたお客様に感謝の言葉を述べられた。

幸和グループさんは近年特にサービス並びにメンテナンスの強化に尽力され、国道7号線沿いにあるバイパス機材センターは、重機半自動洗車場も完備された東北でも有数の設備を備えた整備工場を擁し、また一昨年は鷹巣町

に北秋田営業所をオープンされ、引き続き昨年は倉庫を増築され、峰浜村にある北支店並びに仮設、保安機材センターと合わせてお客様へのニーズの多様化、需要拡大、現場の広範囲化に対応され、「必要な時に、必要な機械、資材」を迅速に即応できる体制を整備され、在庫の充実にも力を注がれている。昨今の厳しい経済情勢のもとでも、この北秋田地域は壮大な構想の「北欧の森」整備や「大館・能代空港」の具体化など大型プロジェクトが進行中で、幸和グループさんの今後益々の発展が期待される。福田社長さん初め社員の皆様のさらなるご繁栄をお祈り申し上げます。

小笠原記

第一建機産業㈱ 創立二十周年記念 展示会盛大に開催



わが社の長野県の代理店であります第一建機産業㈱さん（長野市若里1822-3社長戸谷博美氏）におかれましては、去る9月11日（土）、12日（日）の二日間創立20周年を記念して大展示即売会を開催されました。また前日の10日には商社、建機メーカーなどが招待され長野市内のホテルに於いて盛大な祝賀パーティーが開かれました。

展示会当日は20周年を祝うかの如く、昨日の大雨もすっかり上り朝から雲一つなく晴れ渡り幸先の良いスタートを切ることが出来ました。場内では各メ

ーカー最新鋭機を多数展示し、早朝から引きも切らずお見えになるお客様にご説明申し上げ、ご注文も各コーナーで大量に頂き、会場のいたる所で笛や太鼓の鳴り物入りで威勢良い手締めの音が二日間響き続けました。また食べ放題、飲み放題のお客様コーナーには特製の特大掲示板をしつらえ、次々にご成約になったお買上げ札が掲示板いっぱいになり出されていきました。三笠コーナーでも大人気のマイコンバイブレーターや前後進のMVH-302DS等々大量のご成約を頂き、誠に大盛会の展示会でありました。

これを機に人間で言えば20才の成人、若さあふれるパワーで今後益々のご発展をされるよう心よりお祈り申し上げます。

小野記

フジヤ機工㈱ 創立30周年記念 賑やかに大展示会



昨年9月17日（金）、18日（土）の両日、長野県に於ける弊社の永年の有力代理店であるフジヤ機工㈱様（本社上伊那郡南箕輪村神子柴7408 花岡朗社長）におかれましては、創立30周年記念特別感謝デー（建設機械フェスタ）と題して展示即売会を盛大に開催されました。

バブル崩壊後の不況下、弊社はじめ各メーカーのフジヤ機工さんへの厚い期待のもと、50数社の高性能建設機械



が所狭しと並ぶ大競演となりました。

昨年は冷夏と本当に雨の多い年でしたが展示会開催両日は心配された雨もお客様の足を止める程ではなく、多数のお客様が来場されました。

三笠製品もマイコンバイブレーターをはじめ、上下水道管理め戻し工事で大活躍、売れに売れているMVH-302DSパイプロコンパクター等、多数のご成約を頂きました。

これもひとえに花岡社長様をはじめ上條専務様、社員の皆様の日頃のご協力とご努力の賜と感謝申し上げますとともに、フジヤ機工㈱様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

菅原記

氏 名 浅田佳秀
生年月日 昭和25年7月12日
出身地 静岡県
所 属 第一営業部高崎課
家 族 妻と二女
(中二、小六)



—日頃どんな仕事をしていますか？

群馬県全域を担当して営業活動をしています。一昨年6月より埼玉県担当から群馬県担当に変わり、また昨年11月15日の高崎営業所開設にともない所長を命ぜられ、営業所の責任者として活動しています。

—いま最も関心を持っていることはなんですか？

今は営業所を開設して間もないため、早く活動を軌道に乗せ、ゆとりのある時間を作ることです。時間ができたら、一昨年より再開したスキーを家族連れで楽しみ、またゴルフにもチャレンジし、スポーツを堪能しようと思っています。

—読者の皆様に一言どうぞ

まだできたての営業所ですので、お客様に満足して頂いていないと思いますが、上州のカラー風に吹き飛ばされないよう頑張りますので、なお一層三笠製品の販売にご協力またご愛用をお願い致します。

氏 名 大澤洋二
生年月日 昭和34年12月18日
出身地 群馬県
所 属 第一営業部高崎課
家 族 妻と二女
(6才、2才)



—日頃どんな仕事をしていますか？

昨年8月1日より群馬県内のお客様を訪問し新製品のPRや同行販売などをさせて頂いています。11月15日に高崎営業所が開設されましたので、より身近な営業活動が出来るよう頑張りたいと思います。

—いま最も関心を持っていることはなんですか？

この時期になりますと1月15日の国立競技場はどうかとスポーツ紙面に目を通す毎日です。今年も神戸製鋼が勝つのかと思いつつ関東勢（とくに三洋電機）には一花咲かせてもらいたいと思っています。

—読者の皆様に一言どうぞ

こちらに来てほんの数か月ですので、色々不手際があることと思われていますが、何卒ご協力をお願いします。また、急遽転勤したものですから前任地の北海道のお客様にご迷惑をおかけしました。この紙面を借りましてお詫言申し上げます。

氏 名 小池美香子
生年月日 昭和45年6月22日
出身地 群馬県
所 属 第一営業部高崎課
家 族 独身



—日頃どんな仕事をしていますか？

高崎営業所開設と同時に三笠産業に入社し、営業所内で、お客様からの電話の取り次ぎや品物の出荷手配などを主に行っています。

—いま最も関心を持っていることはなんですか？

音楽に関心があります。毎朝車で40分ほどかけて通勤しているので、その間に好きな音楽を聞きながら楽しく運転しています。一日の内でその時間が一番ゆったりと落ち着けてとても気に入っています。最近はフレンチポップスに興味があってコンサートにもよく出かけています。

—読者の皆様に一言どうぞ

とにかく入社したばかりで何もわからず、一日に50回くらい失敗をしています。一日も早く仕事を覚えて皆様の迷惑にならないよう努力しております。よろしくお願い致します。

我・ら・三・笠・ビ・ー・プ・ル・ズ

我・ら・三・笠・ビ・ー・プ・ル・ズ